

2020年12月4日

東広島市

広島大学

株式会社イズミ

MONET Technologies 株式会社

PRESS RELEASE

自動運転車で小売り MaaS を実現する

「Autono-MaaS」の実用化に向けたプロジェクトを開始

～まず手動運転のオンデマンドバスによるお買物支援サービスや、
自動運転シャトルの実証実験などを2021年2月から順次開始～

東広島市、広島大学、株式会社イズミ（以下「イズミ」）およびMONET Technologies 株式会社（モネ・テクノロジーズ、以下「MONET」）は、スーパーマーケットなどと連携した小売り MaaS を自動運転車で実現する「Autono-MaaS（オートノマース）」[※]の実用化に向けたプロジェクトを、2021年2月から開始します。このプロジェクトは、内閣府により「SDGs 未来都市」に選定された東広島市が目指す、住み続けられるまちづくりの推進と、自動運転時代を見据えた国際学術研究都市の実現に向けて実施するものです。子育て世代や高齢者などのお買物を支援するサービスの実証を目的として、広島大学の学生および教職員や近隣の住民（以下「モニター」）を対象に、西条町下見および西条下見地区を中心としたエリアにおいて、下記の実証実験に段階的に取り組みます。

なお、実証実験に参加していただくモニターは今後募集する予定で、参加が決定したモニターへ各実証実験の詳細をご案内します。モニターの募集の詳細については、別途お知らせします。

※ Autonomous Vehicle（自動運転車）と MaaS を融合させた、自動運転車を利用したモビリティサービスを示すトヨタ自動車株式会社による造語

<実証実験の内容>

1. 1台のオンデマンドバスでスーパーへの送迎と商品の宅配を同時に行う実証実験：2021年2月～2022年3月（予定）

MONET のスマートフォンアプリでの予約に応じて、自宅などの任意の場所から総合スーパー「ゆめタウン学園店」（運営：イズミ）への送迎を行う手動運転のオンデマンドバスを運行します。また、電話などで注文を受け付けた「ゆめタウン学園店」の商品[※]を、モニターが指定する場所・時間にこのオンデマンドバスで配送する実証を同時に行い、貨客混載の運行による新しいお買物支援サービスの実現に向けて取り組みます。なお、オンデマンドバスの車両には、MONET が開発した「マルチタスク車両」を使用するため、シートを外すことで大きな荷物の配送や車椅子での乗車も可能です。[※] 配送の対象外となる商品があります。

<May Mobility 社の自動運転車>

2. 自動運転シャトルの実証実験：2021年3～8月（予定）

米国 May Mobility（メイモビリティ）社が開発した自動運転車を使用して、広島大学の東広島キャンパス内で定路線の自動運転シャトルを運行します。広島大学の学生・教職員は、キャンパス内の移動手段として自動運転シャトルを自由に利用できます。



3. 「BOPIS」などの実証実験：2021年3月～（予定）

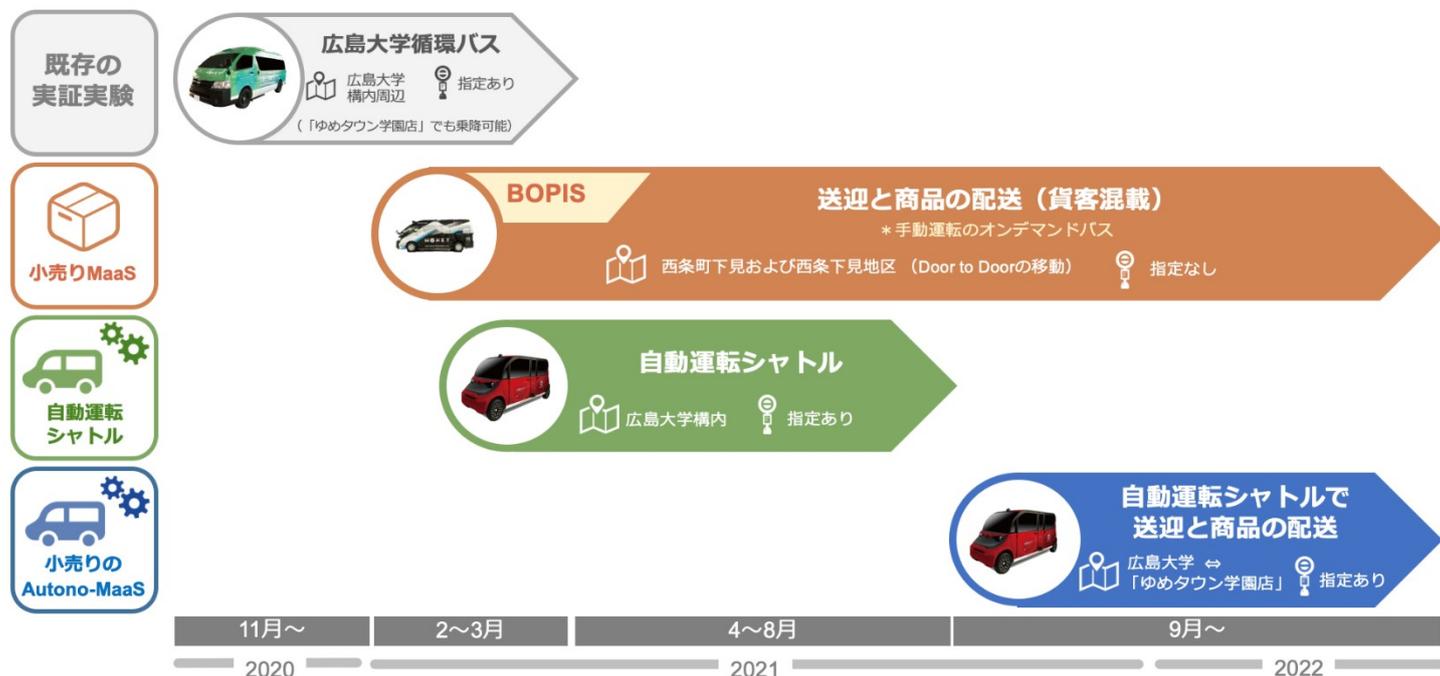
モニターがイズミに電話で注文した「ゆめタウン学園店」の商品を、店頭を設置したロッカーなどで受け取れるサービス「BOPIS (Buy Online, Pick-up In Store)」を実施します。店頭へは、実証実験1で運行するオンデマンドバスをMONETのアプリで予約して移動することができます。

4. 小売りの「Autono-MaaS」の実証実験：2021年9月～2022年3月（予定）

実証実験2で自動運転シャトルの運行の安全性を確認した上で、広島大学の東広島キャンパスと「ゆめタウン学園店」を結ぶルートにおいて、May Mobility社の自動運転シャトル1台を定路線で運行し、モニターの送迎とイズミのアプリで注文を受け付けた「ゆめタウン学園店」の商品の配送を同時に行う予定です。

なお、このプロジェクトに先駆けて、東広島市、広島大学およびMONETは、自動運転社会を見据えたデータ収集を目的に、東広島キャンパスや周辺地域において定時定路線およびオンデマンド型の「広島大学循環バス」を、2019年10月から2020年7月まで運行しました。また、2020年11月からは、東広島市の住民などが安心してお買い物に出掛けられるよう、車内におけるパーソナルスペースの確保と換気に配慮したMONETの「パーソナルベンチレーションキット」を架装した車両で、オンデマンド型の「広島大学循環バス」を運行しています。MONETのアプリで乗車予約をすることで、「ゆめタウン学園店」を含むバス停で誰でも乗降することが可能です。「Autono-MaaS」の実用化に向けた今回のプロジェクトでは、これまでのバスの運行において収集したデータを活用し、より利便性の高いサービスを実証することを目指しています。

<プロジェクトの全体像>



※ 各実証実験の実施時期は、変更になる可能性があります。

※ このプロジェクトは、自動運転社会を見据えた新たなモビリティサービスの創出と実証を目的とした「東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアム」の取り組みの一環として実施するものです。「東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアム」の事務局は、東広島市、MONET および株式会社現代文化研究所が務め、企業や団体、有識者、関係省庁などが会員として加盟しています。なお、オンデマンドバスによる貨客混載などの実証実験は、経済産業省 中国経済産業局の委託事業として実施するものです。

■実施体制

「東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアム」	東広島市	実証実験場所の提供、住民などの関係者との調整
	広島大学	自動運転シャトルの運行に関わる設備提供、自動運転のデータ解析、実証実験場所の提供など
	イズミ	新しいお買物サービスの提供（BOPIS など）
	MONET	オンデマンドバスの配車システムの提供、「マルチタスク車両」の架装、自動運転シャトルの走行支援
	その他の 協力団体・企業	・広島県タクシー協会（「ゆめタウン学園店」の商品の配送） ・広島トヨペット株式会社（自動運転シャトルの整備）

- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】

東広島市 政策企画部 政策推進監

Tel : 082-420-0917 E-mail : hgpr200917@city.higashihiroshima.lg.jp

担当：梅、石橋

広島大学 学術・社会連携部地域連携部門

Tel : 082-424-5871 E-mail : chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

担当：三戸（082-424-5871）

株式会社イズミ 広報担当

Tel : 082-264-2653 Fax : 082-264-0822

担当：飛子

MONET Technologies 株式会社 広報担当（ソフトバンク株式会社 広報本部内）

Tel : 03-6889-2301 E-mail : sbpr@g.softbank.co.jp

担当：高橋（080-4373-5918）